

時局に思う



日本遺族会会長
参議院議員

水落敏栄

ご遺族の皆様には、お元気で
過ぎoshiのことと拝察いたします。

去る五月拜礼式に参列いたしま
した。拜礼式とは、直近一年間で
戦没者遺骨帰還団等が新たに収容
したご遺骨のうち、身元不明や引
き取り手のないご遺骨を、厚生労
働省によつて千鳥ヶ淵墓苑に納骨
される式典であり、例年、皇族の
方々の参列を仰ぎ、総理大臣、厚
生労働大臣等関係閣僚はじめ、ご
遺族や、ご遺骨の収集に参加した

方々と共に迎えしております。

この拜礼式は、参列の協力をお
願ひする東京近県のご遺族や、遺
骨帰還団に参加した方以外にはほ
とんど認知されておらず、また千
鳥ヶ淵戦没者墓苑へ行つたことが
ないというご遺族も多いと聞きま
す。大変憂慮すべき事態です。

墓苑の歴史は古く、昭和二十四
年国によつて建設され、国外で戦
没された方々のご遺骨のうち、身

元が不明で引き取り手のないご遺
骨を納骨する施設であり、ご遺骨
の数は現在三十六万二千五百七十
柱にのほります。

墓苑の維持管理は、建設当時、
日本遺族会、海外戦没者慰霊委員
会、全国戦争犠牲者援護会によつ
て設立された公益財団法人千鳥ヶ
淵戦没者墓苑奉仕会に一手に担つ
ていただいております、その運営は国
に頼ることなく、会員、団体の寄

附のみで賄われておりますが、そ
の活動内容は幅広く、戦没者の慰
霊祭の実施、墓苑の広報、参拝者
参拝団体への支援、墓苑の維持管
理等であり、これまでの尊いご活
動に心より敬意と感謝を申し上げ
ます。

ご遺族皆様にとつて、靖国神社
が精神的支柱であるのは当然のこ
とですが、いわゆる「無名戦士の
墓」である千鳥ヶ淵戦没者墓苑に

もぜひ足を運んでいただきたいと
思います。

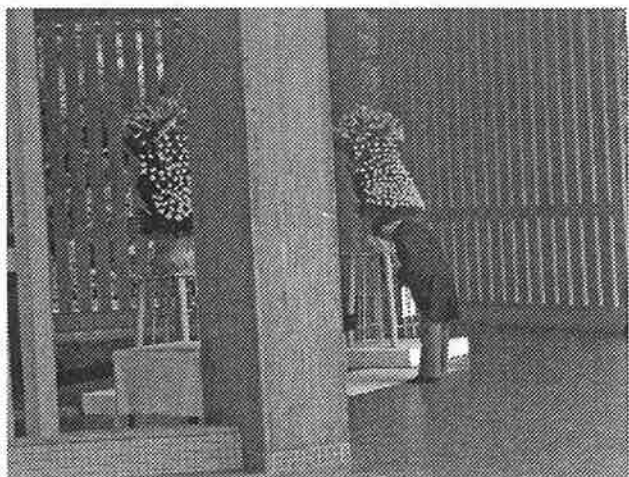
国は遺骨のDNA鑑定を拡大す
る為、遺品がなくてもDNA鑑定
を行えるよう改めました。戦後七
十年ご遺族も高齢化され一刻の猶
予もありません。一柱でも多くご
家族の元へお渡しできるよう願ひ
ます。

また先の大戦で、海外で戦没さ
れた二百四十万人のうち、いまだ

戦没者遺骨収集は国の責務

百十三万のご遺骨が海外で眠つて
おられます。こうした事情に深く
憂慮し、戦没者の遺骨収集を「国
の責務」とする議員立法を今国会
において提出する予定としており
ます。

「ご遺骨の収集が終わらなけれ
ば戦後は終わらない」この思いを
胸に法案成立に全力を尽くして参
りますので、引き続きのご指導ご
鞭撻をお願い申し上げます。



戦没者の冥福を祈り、献花する水落
本会会長 5月25日、千鳥ヶ淵戦没
者墓苑で